

和歌山だより

2025年 第187号
(令和7年)



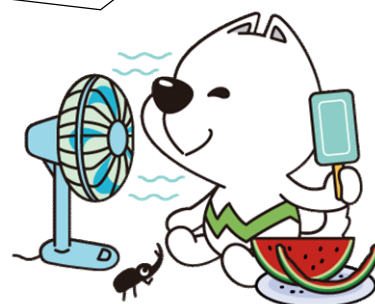
白崎海洋公園（由良町）

白崎海洋公園は、青い空と紺碧の海、そして真っ白な石灰岩が織りなす美しい風景を堪能できるスポットとして知られていますが、日没後には満天の星空が広がることでも有名です。天候が良ければ、流れ星や天の川を眺めることができます。

(写真提供: 公益社団法人和歌山県観光連盟)

CONTENT

- | | | |
|---|-------------------|------------|
| 1 | 知事メッセージ | p. 1 |
| 2 | 和歌山県政トピックス . . . | p. 2 ~ 10 |
| 3 | お知らせ | p. 11 ~ 22 |
| 4 | ふるさと歳時記 | p. 23 ~ 24 |



このたび和歌山県知事として、県政を担わせていただくこととなりました。

岸本前知事の突然のご逝去は大きなショックでした。しかし、県政に尽くされた姿勢をしっかりと受け継ぎ、市町村と連携し、そして、県議会や県庁職員と一丸となって和歌山の未来を見据えた挑戦を続けてまいる所存です。

岸本前知事はふるさと和歌山県への熱い思いを持ち、常に弱い立場の方々に寄り添い、みんなが笑顔になるような施策を最優先に取り組んできました。また、県民の皆さんの声を直接聞くことを重視し、気さくな人柄から相手が話しやすい雰囲気での対話を重ねてきたことなど、温かみのある県政運営だったと思っています。

選挙期間中は、岸本前知事が吹き込んだ息吹をしっかりと受け継ぎ、大きな花を咲かせるべく、取り組んでまいりたいと訴えてきました。

私は、こどもたちがいつもニコニコして、笑顔で暮らせる“こどもまんなか”の和歌山、そして、一人ひとりの個性が輝き、誰もが活躍できる和歌山を実現したいと、その思いを胸に、声を届けてきました。県民一人ひとりに寄り添った県政を、皆さまと共にめざしていきたいと考えています。未来へ“笑顔をつなぐ”ための施策にしっかりと取り組み、安心して暮らし続けられる「笑顔あふれる和歌山」を築いていきたいと思っています。

和歌山県知事 宮 崎 泉



●故岸本周平前和歌山県知事県民葬を執り行いました

4月15日に急逝された岸本周平前和歌山県知事の県民葬（主催：県、県議会、県内の各種団体22団体で構成する実行委員会）を6月7日に執り行いました。

県民の皆さんはじめ、岸本前知事が生前交流のあった方々約2,500名に御参列いただきました。会場には笑顔の岸本前知事の遺影が飾られ、参列者で黙祷を捧げた後、葬儀委員長である宮崎知事が弔辞を述べました。宮崎知事は、常にトライ＆エラーの精神で本県の様々な課題解決に立ち向かい、「県民の笑顔」を追い求めた2年4ヶ月の岸本県政を振り返りながら、「岸本さんが和歌山の将来を思い描いて蒔かれた種を大切に育て、立派な実をみのらせることが、これからを生きる私たち県民の役目」とであると決意を語りました。



（上）弔辞を述べる宮崎知事／（下）黙祷を捧げる参列者



（上）インタビュー映像放映の様子
（下）澤さん、宮下さんによる献奏の様子

そして、生前の岸本前知事のインタビュー動画を交えた映像によりその人柄や功績を偲ぶとともに、和歌山市出身のバイオリニストで前東京藝術大学学長の澤和樹さん、ピアニストで1998（平成10）年に和歌山県文化奨励賞を受賞された宮下直子さんによる「アヴェ・マリア」の献奏などが行われた後、参列者の皆さんによる献花が行われ、追悼の祈りを捧げました。

全国に先駆けて少子高齢化や人口減少が進む本県において、宮崎知事を先頭に、県庁一丸となって日々刻々と移り変わる社会情勢を見極め、県民の皆さんのお声にしつかりと耳を傾けながら「笑顔あふれる和歌山」を実現していきます。

岸本前知事には、和歌山県の発展を見守っていただきたいと思います。

● 2025 大阪・関西万博における本県の取組状況と今後の予定について

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに4月13日に開幕し、大いに盛り上がりを見せている2025大阪・関西万博。万博開幕以降の本県の取組と今後の予定について御紹介します。

関西パビリオン和歌山ゾーン

関西パビリオン内の和歌山ゾーンでは、「和歌山百景」をテーマに、県の魅力を凝縮した空間で様々な和歌山を表現しています。万博開幕後、多くの来場者が和歌山ゾーンを訪れ、紀州漆器の技術で仕上げられた映像タワー「トーテム」に投影される紀伊山地の霊性と豊かな自然風景を象徴する美しい映像に見入ったり、高野口パイルのソファに腰掛けて上質な空間を満喫されています。

また、中央のステージエリアでは、期間ごとに変わる、風情ある伝統的な祭りや工芸の展示、賑わいのある多彩なパフォーマンスなどを通じて、多様な和歌山の魅力を発信しています。

なお、6月10日に和歌山ゾーンへの来場者が15万人を超え、当初の想定よりも早いペースで目標とする30万人の半数に達しました。

和歌山ゾーンに入ってすぐの壁面では、熊野の自然に魅了されて和歌山県に移住した版画家の番留京子^{ばんどめきょうこ}さんによる壁画アートが来場者を迎えます。高さ4m、横幅6mの巨大な壁画アートは、熊野で信仰される導きの神「八咫鳥」^{やたがらす}が、多彩に表現された美しい山や海を温かく見守る様子が描かれています。また「寛容の精神」をもって、すべてを受け入れ、融合共存してきた「熊野三千六百峰」と呼ばれる熊野の山々も表現されており、見る者を圧倒しています。



番留京子氏による壁画アート



Wakayama の森と恵みのペアリングセット

さらに、ゾーン内にあるカウンターバーでは、「森を食べる」をテーマに、世界的なパティシエである加藤峰子^{かとうみねこ}さんがプロデュースし、県内の老舗和菓子店等の職人や果物農家とコラボした和菓子を中心としたスイーツとドリンクのセットで来場者の方をおもてなししています。こち

らのセットでは、香りや色彩などを通じて和歌山の深遠な森を感じてもらうとともに、山椒や檜、大根などの和歌山県産の食材を活かすことで、和歌山の豊かな食文化の魅力も表現しています。（※季節によってセット内容等が変更になることがあります。）

一品一品それぞれ異なる風味が楽しめ、セット全体を通して和歌山の魅力を感じられる味わいになっていると、来場者の方にも好評です。

ステージの出展プログラムは特設
ウェブサイトで御確認ください



飲食の予約はこちらから



和歌山 WEEK

「Wow!Wakayama!」～未来へつなぐ、おどろきの国～をテーマに、和歌山が誇るものづくりや食などの魅力や技術を、展示や体験型ワークショップなどを通じて、国内外に発信しました。（和歌山県、香川県、徳島県の3県で共催）

- ・開催期間：4月30日（水）～5月3日（土）
の4日間
- ・会場：EXPO メッセ「WASSE」
- ・出展団体：11団体
- ・来場者数：45,850人



多くの方で賑わう会場内の様子

和歌山の地域魅力「百景」（前期）

関西パビリオンに隣接する多目的エリアにおいて、振興局が主体となり、県内各地の魅力ある「百景」を、地域の歴史文化を伝えるステージや地域産業の体験・販売により、余すところなく発信しました。

なお、9月10日から15日まで、東牟婁、日高、伊都の各エリアが出展を予定しており、引き続き、地域コンテンツの担い手のSDGsの関心醸成、地域資源の創出等による誘客促進を目指していきます。

- ・開催期間：5月6日（火・祝）～5月18日（日）の13日間
（和歌山市、eスポーツ連合、有田、西牟婁、田辺市、海草、那賀）
- ・会場：関西パビリオン多目的エリア
- ・来場者数：合計 約 57,000 人（1日平均 約 4,400 人）
5月17日（土）が最多で約 9,400 名を記録



広域連合委員会訪問の様子
（和歌山市）



みかん畑を会場に表現
（有田）



根来の子守歌を発信
（那賀）

学生連携等

① 学生共創チャレンジ

- ・概要：高等教育共創コンソーシアム和歌山に所属する学生と7つの振興局が連携して、万博参加型プログラム「共創チャレンジ」に参加し、地域の魅力創出や地域課題解決に向けた企画の発表、展示を実施
- ・開催期間：5月3日（土）～5月5日（月・祝）の3日間
- ・会場：TEAM EXPO パビリオン
- ・来場者数：合計約 21,000 人（1日平均約 7,000 人）
＊フューチャーライフヴィレッジゾーン
- ・その他：万博期間中、本取組を通じて構築したネットワークを活用し海外パビリオンの学生スタッフ等と県内で交流を予定



ステージ発表の様子



展示説明の様子



②こどもの万博参加

- ・概要：小中学生を対象として、学校行事として万博会場へ招待できるよう、入場券とバス代の一部を支援



実施予定イベント

①万博テーマ事業プロデューサー中島さち子氏との連携イベント

「Wakayama ～共に奏でるあしたへ～」

- ・日時：8月9日（土）
- ・場所：万博会場内メッセ「WASSE」
- ・内容：中島さち子氏が手掛ける「世界遊び・学びサミット」の中で、和歌山県との連携イベントを実施（アップサイクルファッションショー、和歌山児童合唱団をはじめとする世界のこどもたちの合唱、多様なメンバーによるダンスチームのパフォーマンスなど）

②和歌山 DAY

- ・日時：10月3日（金）
- ・場所：【Day】 EXPO ホール「シャインハット」
【Night】 EXPO アリーナ「Matsuri」
- ・内容：
【Day】 「こころの旅路はじまる」10:30～15:30（開場 9:45）
第一部：オープニング・創作ミュージカル
第二部：熊野の伝統祭事
第三部：高野山声明、合唱による祈りの旋律・クロージング
【Night】 「EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN－WAKAYAMA DAY－」
18:00～（開場 17:00）
和歌山県出身のアーティスト HYDE 氏によるスペシャルライブ

和歌山DAYの予約(抽選)受付について

●受付期間

DAY：8月2日（土）23時59分 まで

*第一部（10:30～12:00）について予約を受け付けます。
第二部・第三部については先着順で自由に入場できます。

Night：8月2日（土）23時59分 まで

●チケット料金 無料

（万博会場入場チケット料金は別途必要）

●イベント内容・予約方法

留意点等の詳細は
右のQRコードから
御確認ください



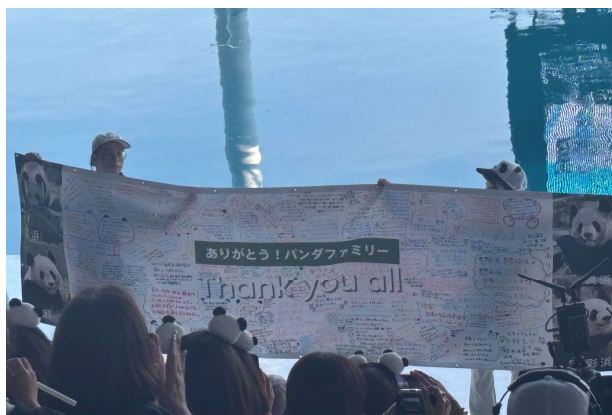
● ジャイアントパンダの歓送セレモニーが開催されました

今年 8 月に日中によるジャイアントパンダ保護共同プロジェクトの契約期間が満了することを受け、アドベンチャーワールドで暮らす良浜、結浜、彩浜、楓浜 4 頭のジャイアントパンダが 6 月 28 日に成都ジャイアントパンダ繁育研究基地（中国四川省）に帰国しました。帰国に合わせ 6 月 27 日に開催されたジャイアントパンダ歓送セレモニーには、パンダたちへの感謝の思いを胸に多くの方が出席しました。



愛らしい姿で私たちに勇気と笑顔を届けてくれました © ADVENTURE WORLD

アドベンチャーワールドで初めて誕生したジャイアントパンダ、良浜は、優しい母親として、今年 1 月に 32 歳で亡くなった永明と一緒に多くの命を育みました。そして、子育て上手なお母さんパンダ良浜から愛情いっぱい育てられた結浜、彩浜、楓浜が懸命に生きる姿は、私たちに癒しや希望、勇気を与えてくれました。



パンダファミリーへのメッセージ横断幕披露の様子

また、アドベンチャーワールドのパンダファミリーは、浜家と呼ばれ、その愛らしさで本県への観光客の誘客はもとより、和歌山が誇る豊かな自然、温泉や食、歴史・文化など、観光地としての認知度の向上にも寄与いただきました。

長年にわたり中国の成都ジャイアントパンダ繁育研究基地と共に保護共同プロジェクトとしてパンダを大切に保護しながら、命をつなぐ取組を続けてこられたアドベンチャーワールドの関係者の皆さん、そしてこの国際的な協力を支えてくださる中国の関係機関の皆さんに、深く感謝申し上げるとともに、県としても、この素晴らしい共同プロジェクトが継続されることを強く願い、今後も応援していきたいと思いをします。

今回のパンダたちの帰国は寂しさも伴いますが、帰国後の新たな暮らしが、更に豊かで幸せなものになることを心から願っています。

良浜、結浜、彩浜、楓浜、たくさんの思い出をありがとう。どうか元気で、また会える日を楽しみにしています。

●国道42号冷水拡幅及び有田海南道路（海南市下津町小南～海南市冷水）が令和7年6月7日に開通しました!!

国道42号有田海南道路は有田市野から海南市冷水までの延長9.4kmのバイパス整備事業(国)で、冷水拡幅は有田海南道路と接続する海南市冷水から同市藤白までの延長1.1kmの現道拡幅事業(国)です。



開通を祝うテープカットの様子

6月7日に、国道42号有田海南道路のうち、海南市下津町小南から同市冷水に至る延長2.9km(2車線)と、冷水拡幅のうち、残る延長0.4km(4車線)が開通し、同日開通式典を開催しました。

県では、これまでも地域振興、防災・減災対策及び国土強靱化を図ることを目的として道路整備を推進しており、その成果の一つである本道路の開通により、通勤時間帯に発生している渋滞の緩和や交通事故の減少といった、当地域の交通課題の解決や、有田市から海南市及び和歌山市への救急搬送に要する時間の短縮による救命率の向上などが期待できます。

さらに、2023(令和5)年9月にオープンした道の駅「海南サクアス」では、県外から多数のお客様が食事や買い物に訪れ、賑わいを見せるとともに、周辺の観光も楽しまれているところであり、今回の開通は、一層の集客にも寄与するものと考えています。

県としては、更なる地域の発展と、安全・安心の前提となる「半島防災」の観点から、道路ネットワークの強化等を推進するとともに、「国道42号有田海南道路」の早期完成に向け、関係機関及び地元の皆さんと共に積極的に取り組んでいきます。



●第24回わかやま環境賞表彰式を開催しました

県では、県民の皆さんの環境保全に関する意識の高揚と行動の促進を図ることを目的として、2002（平成14）年に「わかやま環境賞」を創設し、環境月間である6月に、環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を表彰しています。

24回目を迎える今回は、1個人と3団体の方々に各賞をお贈りしました。



受賞者の皆さんと知事

わかやま環境大賞を受賞された「すさみ町立エビとカニの水族館」は、保育施設や支援学校のこどもたちに生物と触れ合える場を提供するため、現地に出向き生物を展示する巡回水族館の活動を10年以上続けてこられました。

その他の受賞者の方々も積極的かつ献身的に環境保全に取り組まれており、また、今回惜しくも受賞とはならなかった方々の取組も郷土愛にあふれたものばかりでした。美しい故郷を後世に確実に引き継ぐため、環境保全活動が幅広い世代、分野で広がっていくことを期待しています。

■第24回わかやま環境賞受賞者の皆さん

（敬称略）

賞	受賞者	市町村	功績概要
わかやま環境大賞	すさみ町立 エビとカニの水族館	すさみ町	こどもたちが生物とふれあえる 巡回水族館の活動による環境教育の推進
わかやま環境賞	中田食品株式会社	田辺市	独自技術により梅調味廃液を発電に活用し、地域への環境負荷を軽減
	和歌山高専すいそ組	御坊市	水素社会構築へ向けたシミュレーション及び普及啓発活動
特別賞	玉田 卓	白浜町	県内企業や団体への排水処理技術の普及による水環境の改善

●企業立地等の実績について（4月下旬～7月初旬）

本県の企業立地等の取組について、先号以降の実績を御紹介します。

引き続き、本県のビジネス環境と生活環境の良さを多くの企業にPRし、本県への企業誘致を進めていきます。

アイシグリーンシステム株式会社

福岡県に本社を置くアイシグリーンシステム株式会社が、和歌山市に新オフィスを開設することとなりました。

同社は、1996年に設立されたIT企業で、ゴルフ場向け業務システムやカーナビゲーションシステムの開発から販売、保守まで一気通貫で手掛け、ゴルフ場経営をサポートしています。

今回新たに開設するGreen Edge Laboでは、全国のゴルフ場が抱える人材不足に伴う業務の効率化、セルフ化推進のため、業務システムの開発及び開発能力の強化を行う予定です。

■企業概要

企業名：アイシグリーンシステム株式会社
 代表者：代表取締役社長 石下 文仁 氏
 設立年月：1996年5月 / 資本金：3,000万円
 従業員数：45名（2025年4月現在）
 事業内容：ゴルフ場向け業務システム及び
 カーナビゲーションシステムの開発、販売等



5/28 進出協定調印式にて
 （左から）中場商工労働部長、
 石下代表取締役社長、尾花和歌山市長

■進出概要

事業所名：アイシグリーンシステム株式会社 Green Edge Labo
 進出場所：モンティグレ ダイワロイネットホテル和歌山2階
 （和歌山市七番丁26-1）
 雇用予定：正社員15名（全て地元雇用）（3年間）
 事業内容：ゴルフ場向け業務システム開発
 操業開始：2025年6月1日

スタートアップ税理士法人

東京都に本社を置くスタートアップ税理士法人が、和歌山市に新オフィスを開設することとなりました。

同社は、2021年6月に設立され、クラウド会計分野において創業期の企業へシステム導入や活用支援を行ってきた豊富な実績があります。

今回新たに開設するスタートアップ税理士法人-Digital Base Wakayama-では、全国へのサービス展開を行うBPaaS(*)モデル構築の中核拠点として、AI技術を活用したバックオフィス業務の最適化を図るための総合ソフトウェア開発等を行う予定です。

*BPaaS（Business Process as a Service）とは、特定の業務プロセスをクラウド上で提供するサービスで、自動化やAIなどの技術を統合しながらDXを推進し、業務効率化や生産性向上の支援が期待されるアウトソーシングの先進的な形態。

■企業概要

企業名：スタートアップ税理士法人
 代表者：代表社員 大堀 優 氏
 設立年月：2021年6月 / 資本金：900万円
 従業員数：101名（2025年5月9日時点）
 事業内容：税理士業、税務コンサルティング等



7/4 進出協定調印式にて
 （左から）知事、大堀代表社員、尾花和歌山市長

■進出概要

事業所名：スタートアップ税理士法人-Digital Base Wakayama-
 進出場所：南海和歌山市駅ビル3階（和歌山市東蔵前丁3番17）
 雇用予定：正社員21名（地元19名、転入2名）（3年間）
 事業内容：AIバックオフィス総合ソフトウェアの開発等及び
 経理・税務業務のプロセス改革事業
 操業開始：2025年9月1日

●「なつやすみの美術館 15 美術の歴史と歴史の美術」を開催中です

美術と歴史——ともに学校教育における科目や分野の名前です。これらに共通する部分があると感じたことはありますか？

美術作品にはそれが生み出された時代や社会、また人間の心のありようが映し出されています。私たちのまわりで起こるさまざまな出来事が、人が美術作品を生み出すきっかけとなることもあります。美術作品を見ることは、それらを深く知ることにつながります。



高井貞二《エミгранトの街》1940年
和歌山県立近代美術館蔵

一方で美術作品のあり方は、作り手一人ひとりのなかで、あるいは作り手同士の関係を通じて、時代を追って変化していきます。それを私たちは「美術の歴史」、つまり人間が作り出した造形のあゆみとして見つめることで、過去を知る手がかりとしたり、また現在やこの先を見つめる糧にしたりできます。美術と歴史は、はじめから切り離せない関係にあるのです。



森村泰昌《美術史の娘、王女A》1990年
和歌山県立近代美術館蔵

県立近代美術館はその名前にあるように、近代以降、つまり日本における明治から今日までの美術を収集の対象としています。近代のはじまりは世界の各地域によって異なりますが、それぞれの国が外国との関わりを強く意識することになった時代でした。日本にとっては西洋との関わりから、現代につながる美術という価値観が広がっていきます。

その間 150 年あまり、この国は大きな世界戦争を直接に経験し、その後ますます世界と大きく関わって、現在の私たちの社会を作り上げてきました。今の世界はひと昔前とどのように違うのか、また今の私たちがこの先どのような世界を作り出すのか、昭和という時代から数えて 100 年目、また戦後 80 年という節目のこの夏、開館 55 周年を迎えた和歌山の美術館としての目線で考えてみたいと思います。皆さん、是非お越しください。

会 期 9月15日（月・祝）まで

開館時間 9時30分～17時（入場は16時30分まで）

休 館 日 毎週月曜日（祝休日の8月11日、9月15日は開館）
8月12日（火）

入 館 料 一般600円（480円）・大学生330円（290円）＊（ ）内は20名以上の団体料金

＊高校生以下、65歳以上、障害者の方は無料

＊毎月第1日曜日（8月3日、9月7日）は入館無料

●夏期企画展「高野山麓・山里のしごと～高野山周辺地域の暮らし～」を開催中です

県立紀伊風土記の丘では、夏期企画展「高野山麓・山里のしごと」を開催しています。高野山は、弘仁7（816）年に弘法大師・空海が嵯峨天皇から寺地として下賜されたことによって開かれた真言宗の一大拠点にして、寺院が建ち並ぶ宗教都市です。江戸時代の文献には高野山の宗教活動や僧侶の生活を支えるために様々な職人や商人たちが

山上に店を構えていたことが記されており、いわゆる門前町を形成していました。明治5（1872）年の女人禁制廃止に伴い、段階的に僧侶以外の住民が増加し、山上に暮らす人々の生活を維持していくためにも多くの職種がますます必要となっていました。



高野町杖ヶ藪位牌製作用具
（県立紀伊風土記の丘蔵）



高野山周辺地域の守札
（県立紀伊風土記の丘蔵）

その一方で、寺院を中心とした聖地であり、宗教都市でもあった高野山は農産物や木材などを生産できないことから山上に暮らす人々を養うための自給が非常に困難な土地でした。このような山上の暮らしを支えてきたのが高野山周辺に位置する山麓の集落でした。これらの集落では、山間地域で生活するための用具のほか、高野山の寺院に供給するためのモノ作りに用いられた道具が今も残されています。

本企画展では今まで扱われることが少なかった高野山周辺の集落に息づいてきた仕事や生活、信仰に関する民俗文化財を中心に高野山を支えてきた集落のくらしぶりについて紹介します。皆さん、是非お越しください。

会 期 9月7日（日）まで
開館時間 9時～16時30分（入館は16時まで）
休 館 日 毎週月曜日（祝休日の8月11日は開館）
8月12日（火）
入 館 料 一般200円（170円）・大学生100円（80円）＊（ ）内は20名以上の団体料金
＊高校生以下、65歳以上、障害者手帳等をお持ちの方は無料

●KOD0.ec162 株で醸した初めてのワインが販売されました

県工業技術センターは、2004（平成 16）年に熊野古道・中辺路地域にて清酒醸造に適した酵母を発見しました。現在は、「古道酵母」として分譲しており、この酵母を用いた清酒は「熊野紀行」（尾崎酒造株式会社）として販売されています。

2020（令和 2）年度には、古道酵母の改良に取り組み、フルーティなリンゴのような吟醸香（カプロン酸エチル）を高生産できる特徴を持った、新規古道酵母「KOD0.ec162 株」を開発しました。本酵母を用いた清酒は「太平洋 山廃純米無濾過生原酒」（尾崎酒造株式会社）及び「車坂 KOD0.ec162 純米酒」（株式会社吉村秀雄商店）として販売されています。

そして、この度「KOD0.ec162 株」を湯浅町の株式会社 TOA 和歌山湯浅ワイナリーに分譲し、本酵母の特徴を生かしたワイン「古道－KOD0－2024」が販売されました。和歌山オリジナル酵母の新展開となっていますので是非御賞味ください。

なお、本成果は、県工業技術センターで実施している和歌山県コア技術確立事業「微生物の育種技術の高度化」で得られたものであり、今後も県内産業の発展に寄与する技術の開発を進めていきます。



新規古道酵母を用いて醸造したワイン
「古道－KOD0－2024」
（（株）TOA 和歌山湯浅ワイナリー 提供）

●和歌山県観光公式 TikTok アカウントを開設しました!!

この度、和歌山ならではの絶景、温泉、グルメ、アクティビティなど本県が誇る多彩な観光の魅力をより多くの方々に発信するため、公式 TikTok アカウントを開設しました。

本アカウントでは、ショート動画を通じて、イベント情報や観光に役立てていただける様々な情報を定期的に発信していきますので、皆さん是非フォローいただき、本県の魅力を動画でも体感してください。

◆アカウント情報◆

- ・ URL : https://www.tiktok.com/@wakayama_tourism
- ・ アカウント名 : 和歌山県観光【公式】



●「企業版ふるさと納税」で和歌山県の取組を応援しませんか？

企業版ふるさと納税とは、企業の皆様が寄附を通じて地方公共団体の地方創生プロジェクトを応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられるほか、様々なメリットがある仕組みです。

和歌山県では、この制度を活用し県の地方創生の取組を応援していただける企業の皆様を募集しています。

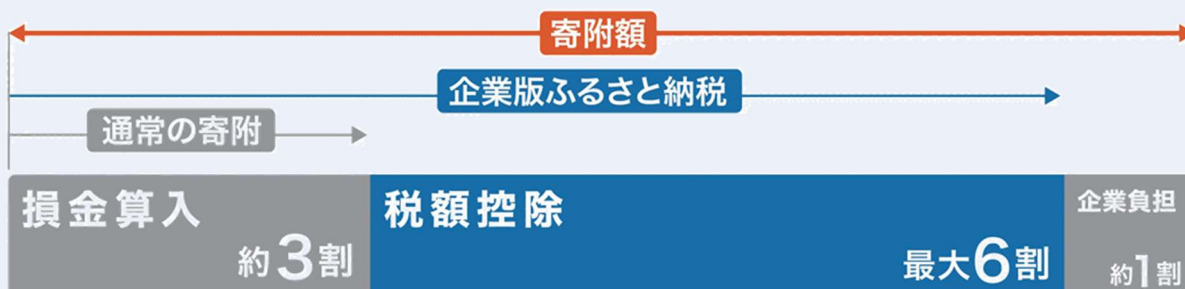
企業版ふるさと納税とは

- 「企業版ふるさと納税」は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる**地方公共団体の「地方創生プロジェクト」**(*)を応援するために企業様が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

*和歌山県の主な取組(2025年度)は次ページに掲載しています。

- 損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)を含め、最大で**寄附額の約9割にあたる法人関係税が軽減**され、実質的な企業様の負担が約1割まで圧縮されます。

【税軽減のイメージ】



*本制度を活用できるのは、**和歌山県外**に本社がある企業様のみです。

*1回当たり**10万円以上**の寄附が対象です。

*寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

企業様のメリットについて

- 社会貢献に取り組む企業としての**PR効果**が期待できます！
- 企業様と県との間で、**新たなパートナーシップ構築**の可能性が広がります！
- 県をはじめ、地方創生プロジェクトに関わる多様な主体との新たな関係構築の可能性が広がります！

詳細はこちらから

⇒<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020200/d00204504.html>

お問い合わせ先：和歌山県 地域振興部 地域政策局 地域振興課 地域支援班

TEL：073-441-2426

MAIL：e1001001@pref.wakayama.lg.jp





和歌山県の 主な取組

本県では、
「積み重ねてきた施策をさらに発展させる」と
ともに「時代の流れに的確に対応」し、
かつ「新たなことに果敢に挑戦」することで、
本県のもつ潜在力を解き放ち、
力強い新たな発展を目指しています。

01 ひとを育む



- ・ こども食堂への支援
- ・ 県立高等学校でのeスポーツ取組支援
- ・ ゲームクリエイターによるコミュニティ構築支援 etc



02 しごとを創る

- ・ 外国人材の受入整備
- ・ 多様で健全な森林の育成
- ・ 第49回全国育樹祭開催支援
- ・ 農林漁業と地域の持続可能性を高める取組の推進
- ・ 民間ロケット発射場を核とした地方創生プロジェクト etc

03 くらしやすさを高める



- ・ 保護収容された犬猫の返還譲渡の推進
- ・ 地域猫対策の推進 etc



04 地域を創る

- ・ 二地域居住促進プロジェクト
- ・ 関係人口の創出事業 etc

* 詳細なプロジェクト内容については、下記QRコードよりご覧いただけます。

* 上記以外の取組につきましても、随時ご相談承ります。

(電話、メールのほか、訪問対応も可能ですので、お気軽
にご連絡ください。)



* メールでの申請が可能です。(申請書は県HPよりダウンロードができます。)

●ふるさと和歌山応援寄附【わかやま未来応援型】の御案内

ふるさと納税制度は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設されました。

和歌山県では、ふるさと納税制度の原点に立ち返り、「和歌山を応援したい」「この取組を支援したい」というお気持ちから、返礼品を設けずに御寄附を頂く新たな寄附メニューとして、ふるさと和歌山応援寄附【わかやま未来応援型】を設け、4月より募集を開始しました。

従来のふるさと和歌山応援寄附は【県産品応援型】（返礼品有り）、【教育環境充実型】（返礼品無し）として引き続き募集しています。

和歌山県外にお住まいで【県産品応援型】（返礼品有り）に13,000円以上の御寄附を頂いた方には、和歌山県の優良県産品の商品のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良県産品を是非御堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますようお願い申し上げます。

わかやま未来応援型



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトの2次元コードはこちら

ふるさと
チョイス



ふるなび



ANAの
ふるさと納税



さとふる



JAL
ふるさと納税



ふるさと和歌山応援サイトの
2次元コードはこちら

わかやま
未来応援型



県産品応援型



教育環境充実型



★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 野田、大亦、西浦

電話 073-441-2186（直通）

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 松場

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

①わかやま未来応援型（返礼品無し）

- 地域における防災力の向上
- 和歌山県スポーツキャンプ誘致推進
- 大学生等による和歌山県内での地域貢献活動の推進
- 地域づくり団体等による関係人口創出拡大事業の推進
- e スポーツの推進による新たな若者文化の形成と地域の活性化
- デジタルクリエイティブ拠点の創出
- こどもの居場所づくり
- チャレンジドの社会参加促進
- 医療と福祉の DX 推進
- 和歌山を宇宙のまちにしよう！
- 県アンテナショップ「わかやま紀州館」を活用した県産品の魅力発信
- 希少な和歌山県産ブランド和牛の認知度向上
- 和歌山県立近代美術館の活動を応援し、豊かな文化を創る
- 南葵音楽文庫 10 周年記念事業
- 和歌山ミュージックアカデミー U18

②県産品応援型

- 生涯スポーツと文化の振興
- がん対策の充実
- 犬猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援
- 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用
- 南紀熊野ジオパークの推進
- 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援
- 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実
- わかやまの美しい海づくり
- わかやまの文化財の保護
- 大切なふるさとの森を守り育てる
- わかやまのナショナルトラスト
- わかやまの農林水産業の振興
- 子育て支援の充実

③教育環境充実型（返礼品無し）

- こどもたちの教育環境の充実

皆様から頂いた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

●ふるさと和歌山応援寄附「令和6年度寄附金活用事業実績報告」

ふるさと和歌山応援寄附の取組に多数の皆様の御理解と御賛同を頂き誠にありがとうございます。

おかげをもちまして、令和6年度は2,424名の方から約7,525万円の温かい御寄附を賜りました。

また、心温まる力強い応援のメッセージも多数いただきました。紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。

お寄せいただいた寄附金は、令和7年度以降の事業に活用させていただきます。

なお、令和5年度までに頂いた寄附金は、次のとおり令和6年度事業に活用させていただきましたので御報告申し上げます。(残りの寄附金については、令和7年度以降の事業に活用させていただきます。)

南紀熊野ジオパークの推進

【寄附金の活用額 1,685千円】

南紀熊野ジオパークセンターの来館者に対する展示説明等業務に活用させていただきました。



センター来館者への展示説明等業務

がん対策の充実

【寄附金の活用額 9,240千円】

若年のがん患者が生殖機能を温存するための支援や自宅で療養する際の在宅サービス利用に関する支援のほか、ウィッグや乳房補正下着などの医療用補整具の購入に関する支援など、がん患者への各種支援のために活用させていただきました。

また、公的医療保険の適用がないがん先進医療を受ける患者への支援に対して活用させていただきました。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用

【寄附金の活用額 7,379 千円】

高野・熊野の参詣道をはじめとする世界遺産の維持管理や修繕、災害復旧のために活用させていただきました。



高野参詣道京大坂道不動坂の被災状況



復旧後の状況

県立図書館の蔵書の充実

【寄附金の活用額 4,955 千円】

和歌山県立図書館の蔵書充実の全事業費 68,214 千円の一部として活用させていただきました。

なお、本事業全体で、県立図書館本館（和歌山市）は 10,230 冊、紀南分館（田辺市）は 4,342 冊の蔵書を充実させました。

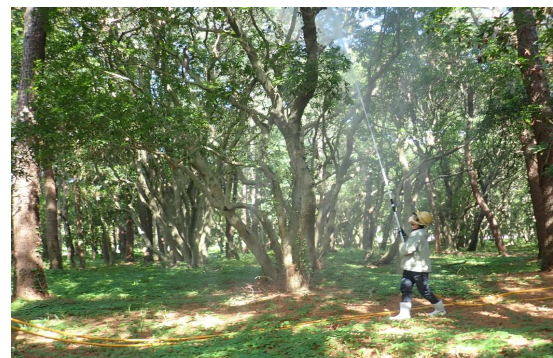
大切なふるさとの森を守り育てる

【寄附金の活用額 3,393 千円】

松くい虫被害防止対策として、美浜町煙樹ヶ浜での薬剤の地上散布を行うために活用させていただきました。



薬剤散布の様子



煙樹ヶ浜の松林

わかやまの農林水産業の振興

次世代農業リーダー育成事業 【寄附金の活用額 17,125 千円】

幼少期から就農に至るまで継続的に農業教育を実施するとともに、地域農業の発展を目指す青年農業者等の支援に活用させていただきました。

○青年リーダー育成支援【寄附金の活用額のうち、5,132 千円】

将来あるべき地域農業の姿(将来ビジョン)の立案と、その実現に向けた青年農業者等の取組を支援する補助事業の財源として活用させていただきました。

令和6年度は、新ビジネスモデル実施による有田みかんの新たな可能性の創出が地域農業の持続的な成長に繋げることを目的として、有田川町でみかんの冷凍加工商品の開発を進める事業を採択し、必要となる設備や機器の整備を支援しました。



冷凍機



試作した冷凍フルーツ

○農業教育・研究施設のパワーアップ【寄附金の活用額のうち、11,993 千円】

農林大学校、就農支援センター、農業試験場、農業試験場暖地園芸センターにおいて、教育・研究用の施設機器整備に活用させていただきました。



教育・研究環境充実のために導入した施設・機器

犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

○不幸な猫をなくすプロジェクト 【寄附金の活用額 7,142 千円】

不幸な命をなくすために地域猫対策を実施してくださっている方への支援として、地域猫の不妊去勢手術（令和6年度実績 1,507 匹）の費用の一部として活用させていただきました。不妊去勢手術の際に目印のため耳先をV字にカットされた猫は、元の場所に返され地域猫として1代限りの命を全うします。

なお、猫の殺処分数は、プロジェクト開始前と比較し、2,478 匹（平成27年度）から 291 匹（令和6年度）と 88%減少しています。



不妊去勢手術の様子



耳先をV字にカットされた地域猫

地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

○和歌山県若手中核人材確保強化【寄附金の活用額 501 千円】

本事業に参画している県内企業に研究開発職・技術職として、定着した方への奨学金返還支援に活用させていただきました。



合同企業面接会の様子

こどもたちの教育環境の充実

【寄附金の活用額 6,998 千円】

県立高等学校や県立特別支援学校の学習用機器等の整備のために活用させていただきました。



教育環境充実のために購入した備品等

わかやまの文化財の保護

【寄附金の活用額 3,045 千円】

県内の文化財の保存や整備のために活用させていただきました。



【国選定重要文化的景観】
 蘭島及び三田・清水の農山村景観 水路整備（有田川町）



【国宝（建造物）】
 善福院釈迦堂 防災施設整備（海南市）

わかやまの美しい海づくり

【寄附金の活用額 4,842 千円】

県内の海水浴場の整備や海岸保全施設の修繕に活用させていただきました。



整備中の白良浜海水浴場（白浜町）



整備後の状況

感染症対策

【寄附金の活用額 4,603 千円】

新型コロナウイルス感染症対策として、検査試薬購入費用等に活用させていただきました。

＊「生涯スポーツと文化の振興」、「わかやまのナショナルトラスト」を
 使途として指定いただいた寄附金については、ふるさと和歌山
 応援基金に積み立て、令和7年度以降に活用させていただきます。

本年も引き続き、ふるさと和歌山応援寄附を通じて和歌山県を
 応援していただきますようお願い申し上げます。

制度の詳細につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」を御
 覧ください。

また、寄附申出時に公表に同意していただいた方の応援メッセ
 ージ等も掲載していますので、併せて御覧ください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

URL : <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*** 最新の情報は、主催者等へお問い合わせください。**

イベント情報（8月～10月）



開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
8月2日	第57回紀州おどり 「ぶんだら節」	和歌山城周辺 (和歌山市)	和歌山市紀州おどり 実行委員会事務局 073-435-1234
8月12日 ～13日	市制施行・合併20周年 記念熊野徐福万燈祭 (第63回新宮花火大会)	8/12 徐福公園 8/13 熊野川河川敷 (新宮市)	新宮市商工観光課 0735-23-3333
8月13日	第52回高野山ろうそく まつり	奥之院参道 (高野町)	ろうそくまつり実行委員会 高野町教育委員会 0736-56-2076
8月24日	好きやっしょ紀の川！ 夢花火市民まつり 2025	紀の川市民公園多 目的広場 (紀の川市)	紀の川市民まつり実 行委員会事務局 0736-77-2511
9月13日	光三宝荒神社 献灯祭	光三宝荒神社 (橋本市)	光三宝荒神社 0736-32-7484
9月28日	大塔地球元気村 2025	大塔水辺の楽校ほか (田辺市)	大塔地球元気村実行 委員会 0739-48-0301
10月3日	大阪・関西万博 「和歌山 DAY」開催	大阪・関西万博会場 (大阪市)	県万博推進課 073-441-2703
10月12日	丹生神社例大祭 (笑い祭)	丹生神社 (日高川町)	日高川町観光協会 0738-22-2041
10月15日	伊太祁曽神社例祭	伊太祁曽神社 (和歌山市)	伊太祁曽神社 073-478-0006
10月26日	官省符まつり	丹生官省符神社 (九度山町)	丹生官省符神社 0736-54-2754
10月下旬	梧陵まつり (稲むらの火祭り)	広川町役場周辺～ 廣八幡宮 (広川町)	広川町地域振興課 0737-23-7764

自然・風物情報（8月～10月）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
8月上旬 ～9月上旬	なし狩り	かつらぎ町内観光農園 (かつらぎ町)	かつらぎ町観光協会 0736-22-0300
8月上旬 ～9月下旬	シャインマスカット狩り	かつらぎ町内観光農園 (かつらぎ町)	かつらぎ町観光協会 0736-22-0300
8月上旬 ～9月下旬	ぶどう狩り	有田巨峰村 (有田川町)	有田巨峰村 0737-32-4484
9月中旬 ～11月中旬	生石高原 ススキの見頃	生石高原 (有田川町、紀美野町)	有田川町商工観光課 0737-22-4506 生石高原観光協会事務局 073-489-5901
9月～11月	加太のマダイの水揚げ	和歌山市加太	海草振興局 農業水産振興課 073-441-3382
10月上旬 ～中旬	鷲ヶ峰コスモスパーク コスモスの見頃	鷲ヶ峰コスモスパーク (有田川町)	有田川町商工観光課 0737-22-4506
10月中旬 ～2月	アジアカエビの水揚げ	雑賀崎漁協 和歌山北漁協 (和歌山市) 海南市漁協 (海南市)	海草振興局 農業水産振興課 073-441-3382
10月	アサギマダラ飛来	西山アサギマダラの谷 (日高町)	日高町役場 企画まちづくり課 0738-63-3806

～編集後記～

和歌山では蒸し暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

6月4日に宮崎県知事が着任されました。冒頭のメッセージにもあるとおり、安心して暮らし続けられる「笑顔あふれる和歌山」を実現させるため、県庁職員も一丸となって取り組んでまいります。

和歌山県では多くの学校が夏休みに入りました。この夏、どこかに出かけるご予定はありますか。私は毎夏、家族と共に古座川をカヌーで下ったり、日高川や熊野川で川遊びをしたり、那智勝浦の民宿に泊まったりと、県内でゆったりと過ごすのが恒例です。

以前、和歌山の観光地としての魅力を海外向けに紹介する仕事を担当していた際、よく言われていたのが「和歌山の自然はとても美しい、そして身近に感じられるのが素晴らしい」ということ。聞いてみると、海外にも美しい海岸や山、滝といった景勝地や自然があるのですが、そこにたどり着くまでのアクセス手段がなく、直に体験することができないとのことでした。千疊敷や熊野古道を歩けたり、片男波や白良浜で海水浴ができたり、田辺や串本の海ではスキューバダイビングができたり、海金剛や那智の滝を間近で見られることに海外の方は感心しておられました。

和歌山の先人が残してくれた自然に感謝しつつ、今年は有田川町でのんびり過ごそうかと計画しています。

今年、近畿地方は史上最も早く梅雨が明けたとのこと。今年の夏は長くなりそうです。熱中症にはくれぐれもお気をつけください。

今号も最後までご覧いただきありがとうございました。

知事室 秘書課長 魚井 慎吾



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ではカラーの紙面を楽しんでいただけますので、是非御覧ください。

和歌山だよりに対する御意見・御感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報を御提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願ひします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp



県ホームページ
QRコード



ふるさと和歌山
応援サイト QRコード

* 個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2025 年（令和 7 年） NO.187

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通 1 - 1

TEL 073-441-2026